

# 東京病院ニュース

増刊号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

## 就任のご挨拶



統括診療部長 田村 厚久

この度、統括診療部長を拝命いたしました。私が当院に派遣されたのは昭和の終わりで、医局に自分の親世代の先生方が集う風景には圧倒されたものです。その後誘って頂き、平成、令和と当院で過ごし、自分も嘗ての親世代の先生方と同じ年頃になってしまいました。この間、様々な出来事がありましたが、今回のCOVID-19ほど深刻な問題は初めてです。治療や予防、或いはウィルスやヒトが今後どう変わっていくのか分かりませんが、出来ることを確実に行って地域医療を支えると共に院内感染にも最大限の注意を払わなければなりません。またこの高齢化社会ではCOVID-19以外の疾患への診療維持も必要不可欠です。今後とも診療部全体で、患者さんや連携施設の皆様と一緒に当院の医療を良くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



事務部長 堀住 雄策

4月1日付でNHO本部から東京病院事務部長に配置換となりました堀住と申します。

当院に赴任してまず驚いたことは敷地の広さです。自然に溢れ患者さんにとってとても良い療養環境ではないでしょうか。一方この環境を維持するには手入れがとても大変そうとも感じたところでもあります。また、広い敷地の中には「外気舎」という歴史的な建物もあり、当院の歴史の長さを知ることもできます。1病棟の近くにありますので是非一度ご覧になって下さい。今年に入り新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。このような時期に地域で頼れる病院があることはとても大切だと思います。これまでもそしてこれからも当院が地域の皆さんの期待に応え続けられる病院であるよう職員の皆さんとともに努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



**看護部長 鈴木 英美**

4月1日付けで千葉医療センターから配置換えとなりました。

東京病院の敷地の広さに驚きながら毎日のように病院探検をしています。大きなガラスに囲まれ明るく、また太陽の恵みである『陽射し』が多く射し込んでいるのを見ると、療養環境としては申し分なく、穏やかな気持ちにもなります。辞令交付の日、緑色の中に鮮やかなピンク色をした満開の八重桜が目に飛び込んできました。「さあ～新しいことが始まる、がんばるぞ～～」という気持ちにさせてくれました。常に広い視野を心掛け、地域の皆様によりよい医療が提供できるよう東京病院というチームの一員として努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**薬剤部長 井出 泰男**

4月1日付にて水戸医療センターより配置換えでまいりました井出泰男と申します。

国立病院機構の病院では、患者さんの安全・安心な医療を提供するため各病棟に薬剤師を配置して入院患者さんへの服薬指導、医師・看護師等の医療従事者に対して負担軽減を目的とした業務等を行っています。これまでの経験を活かし、様々な視点から業務展開を図るとともに、医療の高度化・複雑化に伴う病院薬剤師の責任の重要性を鑑み、薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。何卒、よろしくお願いいたします。

**管理課長 成田 真作満**

この度、令和2年4月1日付けにて管理課長を拝命いたしました成田真作満です。

昨年度から法施行された働き方改革や、今年度から始まる同一労働同一賃金などへの対応について、東京病院内の各部署の状況や環境に即して取り組んでいく所存です。さらにこの4月現在、世界中で猛威を振り、日本においては首都部に緊急事態宣言が出ている状況の新型コロナウイルスへの対応について、僅かながらでも東京病院で働く医療従事者のみなさまへのご助力となれるよう努めてまいりたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

**副看護部長 椎名 美智子**

4月1日付で赴任いたしました、副看護部長の椎名美智子と申します。

五月つつじも満開となり、新緑がまぶしい季節を迎えました。朝は鳥の鳴き声にも癒されながら通勤しています。緑多き敷地と院内の広さに圧倒され、やや筋肉の痛みを感じながら病棟ラウンドをしています。まだまだ不慣れなところがありますが、東京病院の一員として貢献できるよう、精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**言語聴覚士長 小池 京子**

令和2年4月1日付にて言語聴覚士長を拝命し、甲府病院より異動して参りました小池京子と申します。横浜、渋谷、石和温泉での勤務を経て、7年前に国立病院機構甲府病院に入職致しました。出身は東京都日野市で、初めて地元である多摩地区の病院に勤務となりました。地域に貢献し、恩返しができる機会をいただき、大変光栄に思っております。前任の藤塚先生の築かれたものを継承しながら、新しいことにも言語聴覚士の同僚と取り組んでいきたいと考えております。早く職務に慣れて、よりよい言語聴覚療法を提供できるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

**呼吸器内科医長 佐々木 結花**

はじめまして。4月1日付で呼吸器内科医長として勤務させていただいております佐々木結花と申します。出身は東京都日野市で、千葉大学医学部卒業後、国立病院機構千葉東病院、複十字病院を経て東京病院に赴任いたしました。専門は呼吸器慢性感染症ですが、広く慢性呼吸器疾患の患者さんを診療して参りました。多摩北部の呼吸器診療のお役にたてるよう、精勤したいと思います。よろしく願い申し上げます。

**放射線科医長 張 大鎮**

北海道大学卒業後、大学病院、旭川厚生病院、都立駒込病院、都立墨東病院、Q S T病院（旧放医研病院）を経て東京病院放射線診療センターへ参りました。これまでに一般放射線治療、小線源治療から高精度放射線治療（定位照射、IMRT）、粒子線治療など、広く深く学んでまいりました。この経験を活かしながら、院内スタッフ及び地域の医療機関と連携して年々増加するがん診療に貢献できるよう努めたいと思っております。また放射線治療について疑問、もしくはご相談等がありましたら遠慮せずご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

**呼吸器外科医師 福元 健人**

4月より呼吸器外科に赴任いたしました。多摩地域での勤務は、約10年前の東京都立府中病院（現 多摩総合医療センター）での臨床研修以来となります。一般外科3年の臨床を経て、呼吸器外科の診療を始めて6年ほどが経ちました。当院には「東京病院ならではの」症例も多く、当院での経験は自分にとって必ず大きな糧になるだろうと感じていますが、それ以上に、専門医として診療に当たることの責任を重く受け止めております。改めて、一人一人の患者さんと丁寧に向き合おうと、身の引き締まる思いです。

これまで培ってきた自身の経験と専門性を基に、北多摩北部70万人を含む地域の皆さんの命と健康の為に尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**呼吸器内科医師 小田島 丘人**

今年4月より、呼吸器内科に赴任いたしました、小田島丘人と申します。

東京慈恵会医科大学を卒業後、同附属病院、埼玉県立循環器・呼吸器病センターでの診療を経て、東京病院へ参りました。患者さんやご家族の声を傾聴しつつ、東京病院にて、感染症をはじめ、幅広く多くの症例を経験し、邁進していければと考えております。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

**リハビリテーション科医師 西本 遼輝**

4月から赴任しました、リハビリテーション科の西本遼輝と申します。機能障害を抱えた患者さんがリハビリテーション治療を目標に入院しています。患者さんやご家族の希望を傾聴しつつ、チームで協力し、サポートできればと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

**リハビリテーション科医師 梅原 花芽**

はじめまして。本年4月より回復期病棟を主に担当させて頂いております。

機能障害を抱え、今後の生活に不安を抱えている患者さんや家族の方がいらっしゃる事と思います。病院スタッフ一丸となってサポート出来ればと思っております。

宜しくお願ひ致します。



## 新任のご挨拶



### 専攻医 小佐井 惟吹

今年度より内科専攻医として入職しました、小佐井惟吹（コサイイブキ）と申します。横浜市立大学卒業後、国立病院機構 東京医療センターで初期研修を行いました。

新型コロナの影響もありイレギュラーなことも多いですが、自分にできることを着実にやっていこうと思っています。

3年間の後期研修を通して、医学面だけでなく、患者さんやご家族とのかかわり方なども学んでゆく所存です。まだまだ力不足ですが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



### 専攻医 赤沼 幸史

杏林大学医学部付属病院高齢診療科より呼吸器内科専修医として赴任しました赤沼幸史と申します。疾患を診るというよりは、いくつもの疾患を抱える高齢者を診るというスタンスの診療に従事していましたが、その中で呼吸器疾患に特に興味を持ち、内科専門プログラムの一環として当院当科での研修を希望致しました。一年間という短い期間ですが、少しでも呼吸器疾患に関して理解を深めることができると考えております。よろしくお願ひ致します。



### 専攻医 小泉 貴洋

この度、呼吸器内科をローテートさせていただきます小泉貴洋と申します。

所属は東邦大学医療センター大橋病院循環器内科で、専攻医2年目になります。結核初期治療を含めた様々な呼吸器疾患を経験し、将来の専門領域に活かせればと思います。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



### 専攻医 小岩 智大

今年4月よりお世話になっております。呼吸器内科専攻医の小岩智大と申します。1年ぶりに戻ってまいりましたが、職種を問わずいろいろな方に「おかえりなさい」と声をかけていただき、とてもうれしく幸せな気持ちでスタートを切らせていただいております。病院内の温かさのみならず、外に視線を向けると自然豊かであり美しい病院であることも実感します。素晴らしい環境の中で理想とする先輩医師、尊敬するスタッフの皆さんに囲まれて、研鑽を積む時を過ごせることを大変幸せに感じております。日々穏やかに、少しでも成長できるように精一杯頑張りたいと存じます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

**専攻医 山口 美保**

本年4月より呼吸器内科呼吸器内科専攻医として東京病院に入職させていただきました。昨年度は東京都立多摩医療センターで内科研修をさせていただきました。この経験を日々の診療に活かし、スタッフと連携・協力しながら、患者さんにとって安心できる医療を提供できるように努力します。よろしくお願いいたします。

**専攻医 内山 翔太**

令和2年度より専攻医として赴任致しました、呼吸器内科の内山翔太と申します。

昨年度までは慈恵医科大学で研修をしておりました。本年度より川島先生・花輪先生のもと主に病棟業務を行わせて頂いております。昨年度までは大学病院とは言え、比較的典型例を診ることが多かったのですが、東京病院に赴任して、耐性結核など難しい症例が多く、日々勉強させて頂いております。

今後も精進してまいります。

**専攻医 遠藤 梓**

4月より内科後期研修医として入職致しました塚田梓と申します。高校までは新潟で過ごし、群馬大学卒業後群馬県の太田記念病院で初期研修を行い、昨年度から多摩総合医療センターの内科後期研修プログラムに所属、今年4月から半年間東京病院で研修させていただきます。この半年間学びを深め、患者さんに寄り添いながら日々精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

